

第3回土浦市中心市街地活性化協議会議事録

開催日時 平成25年5月23日(木) 13時33分より15時18分まで

開催場所 土浦商工会議所 ホール

出席者数 17名

出席者名

- ・中川 喜久治(土浦商工会議所副会頭)
- ・横山 和裕(土浦商工会議所副会頭)
- ・伊藤光二郎(土浦都市開発(株)常務取締役)
- ・五頭 英明(土浦市副市長)
- ・小泉 裕司(土浦市副市長)
- ・木村 芳弘(土浦商店街連合会)
- ・勝田 達也(NPO 法人まちづくり活性化土浦理事長)
- ・山根 幸美(土浦市女性団体連絡協議会調査研究部会長)
- ・伊藤 勝夫(株アトレ ペルチ土浦店長)
- ・飯田 泰(土浦市金融団幹事行 茅根委員代理)
- ・豊田 高久(土浦市金融団幹事行)
- ・酒井 英人(社茨城県宅地建物取引業協会土浦・つくば支部副支部長)
- ・矢口 健一(社土浦青年会議所元理事長)
- ・小磯美智雄(土浦農業協同組合 池田委員代理)
- ・池田 正雄(つくば国際大学教授)
- ・横田 清泰(内閣官房地域活性化統合事務局参事官補佐)
- ・清水 伸(茨城県商工労働部中小企業課 助川オブザーバー代理)

(土浦市)

- 塚本 盛夫(公室長)
- 小柳 健一(総務部長)
- 久保谷秀明(産業部長)
- 東郷 和男(都市整備部長)
- 神立 義貴(市長公室 政策企画課参事兼課長)
- 小松澤文雄(新庁舎整備課課長)
- 飯村 甚(商工観光課長)
- 船沢 一郎(都市計画課課長)
- 北島 康雄(商工観光課長補佐)
- 村瀬 潤一(商工観光課主査)
- 登坂 裕明(商工観光課主幹)
- 山口 淳一(商工観光課主事)
- 飯泉 貴史(まちづくり推進室室長)
- 長坂 英治(まちづくり推進室主幹)
- 中泉 梢(まちづくり推進室主事)

(土浦市観光協会)

塚田 光生(専務理事)

(事務局：土浦商工会議所)

- 菅澤 秀男(専務理事)
- 稲葉 豊実(中小企業相談所長)
- 加賀美吉彦(総務課長)
- 飯野 晃(商工振興課課長補佐)
- 石井 政男(中心市街地活性化協議会事務長)
- 森内 靖雄(中心市街地活性化協議会係長)
- 菅原 伸司(中心市街地活性化協議会主幹)

会議概要

協議

(1) まちながグランドデザインの拠点別開発イメージについて
(土浦市都市整備部都市計画課船沢課長)
新市庁舎整備 (ウララ)
土浦駅前北地区再開発事業 (新図書館等)
亀城公園を核とした歴史的景観形成
市民交流拠点としての施設整備 (中央地区)
民間活力による住宅開発の誘導 (大和町北地区)
集客性の高い民間施設等の誘導 (駅東口)
霞ヶ浦と温泉を活かした空間の整備・誘導 について説明。

(中川会長)

霞ヶ浦を活用する上で、水が綺麗であることは重要な視点になります。国の管理する湖ですので、市だけでは解決できないことがあると思います。中心市街地の活性化という小さな枠ではなく、首都圏の湖として応援していただけるような支援策はないでしょうか。

(横田オブザーバー)

河川や湖の管理は国土交通省が担当することになりますが、まちづくりは縦割りではなく横串でやるべきだと考えております。

他の事例で言いますと、琵琶湖で似たような例がありますが、湖を活かした活性化策は非常に重要だと認識していますので、事例は多くありませんが、今後も琵琶湖の事例も含めて、国としても水質浄化等に積極的に関与して行くことになると思います。

(木村委員)

大きな河川は無理かもしれませんが、川を二階建てにして浄化した水を2階に流して綺麗になった水を実感してもらい取り組みの話聞いたことがあります。水と土浦の関わりは生命線みたいなもので、力を入れても良い事業だと思います。

トロントでは、花火競技大会のように1週間程連続して各国の花火を打ち上げている。花火が湖に移ってステージが相当広がっている。花火大会が日本一から世界一を目指すなら、そういう取り組みも考えてもいいと思います。

中川会長が言うように、水質浄化を考えると、日本一の噴水を作って、浄化のシンボルとして観光とリンクして行ければ、子供だけではなく多くの人が水に触れられると思う。綺麗な水を意図的に体感させることは事業として検討するとかなりの事が出来ると思う。

(山根委員)

私は、霞ヶ浦市民協会や霞ヶ浦研究会にも参加しております。

浄化の話がありましたが、霞ヶ浦は指定湖沼になっているので、湖沼水質保全計画を立てなければなりません。現在第5期が終了し、第6期が始まっています。琵琶湖の話が出ましたが、湖の成り立ちも構造も違います。霞ヶ浦は浅くて広い湖ということで汚れやすい。各期を振り返ると目標を達成しにくいですが、これだけの水質を保っているという見方も出来ます。

又、市内では、かわまちづくり事業が進められています。それが、中心市街地活性化とリンクしていると思うので、市から補足していただきたい。

別の質問ですが、大和北地区の土地の有効活用の図で、常陽銀行駅前支店の土地が広場としての活用となっているが、これは移転が決まっているのですか。

(土浦市都市整備部 東郷部長)

かわまちづくり事業は、計画を昨年と本年度で策定しています。

特に霞ヶ浦、さらに桜川の水辺を一体的に進めていまして、中心市街地活性化事業に位置付けた以上、水質浄化が大前提となります。

現在、霞ヶ浦工事事務所、県河川課と市でそれぞれの管理者が出来る事業を展開しながら、まちづくりと水質浄化を図る施策をまとめており、これも活性化事業に位置付けて5年間で実施して行きたいと思っています。アオコについては、土浦港に溜まって悪臭を発する状態なので、それを防いで、港から出せるような仕組みを県でも検討されていますので、具体的に示して行きたいと思います。

大和北地区開発イメージの常陽銀行については、話し合いはしていますが、まちづくりに資する手法を相談しながら提出して行きたい。具体的にはこれから整理を考えています。

(山根委員)

敷地内に銀行が残りながら活用するイメージですか。

(東郷部長)

現在営業されていますので、移転する話は別で検討しています。

(土浦市金融団 飯田氏)

土浦市からの意向は本部に伝えていますが、具体的な提案がない中で検討は進めていませんが、市の再開発には前向きに検討して行く方針です。

(山根委員)

アオコが全くない湖は不自然で、アオコの発生も食物連鎖の中で自然の形です。アオコがよどんで腐ってしまう状態を除けば汚いイメージにはつながらないと思います。

(池田正雄委員)

水辺のまちづくりには関心があります。最近、桜川でドラゴンボートを漕ぐイベントを学生と体験しました。

初めてでしたが、お花見の時など桜川は風光明媚で、これを活かさない手はないと感じました。霞ヶ浦の遊覧船も大変楽しめましたので、桜川はエリアから外れるのかもしれませんが、水辺の集客事業も積極的に展開するべきかと思っています。

(横山委員)

真鍋神林線延伸の時期についてお聞きします。

又、川口中線の開通に伴い、労働基準監督署、労働基準監督協会が移転しなければなりません、ぜひホスピタリティーを持って市内に迎えていただきたい。更に、国の出先機関であるハローワーク、税務署、社会保険センター、国土交通事務所等の受け皿を中心市街地、又は市役所跡地等へ用意できないでしょうか。

常陽銀行駅前支店の活用について、会議所の常議員会でも駅前の最大のニーズは駐車場であると伺っていますので、駐車場にしていきたい。

空き店舗対策と合わせて、空き駐車場対策も重要であります。市内には駐車場がたくさんありますが、来街者からすれば、料金等区々で分かり辛いということだと思います。東西の市営駐車場はありますが、新庁舎オープンと同時に、台数を補完する意味でも対策を進めて欲しいと思います。

市職員の通勤は、公共交通への転換を検討されていますが、私は大きな混雑はないと思っています。まちなかでビルを壊して駐車場にしてしまうことが多いことから、空き駐車場対策の中で、民間の駐車場と協議して駐車場が埋まるような対策を検討していただきたいと思います。

横田オブザーバーに伺いますが、国の出先機関を誘致する場合、震災の影響で予算がないようなこと

を聞いておりますが、国の方針はどの様なものなのか伺いたいです。

(横田オブザーバー)

国では出先機関そのものをどうするかが議論されています。

例を挙げれば、国土交通省系はもともと建設省と運輸省に分かれていました。出先機関は今でもそれぞれありますが、役所が統合した目的に、これらを集約することもあったわけですが、必ずしも統合出来ていません。国としては、都市機能集約の観点から合同庁舎をつくって一緒にするような形式を進めていくことになると思います。土浦の出先機関の状況について、詳細は承知しておりませんが、今後建て替えの議論の過程で、国全体の方向性としては、一カ所に集約して行く方向にあると思っています。

(東郷部長)

真鍋神林線の延伸は、現在地元説明会を実施しながら進めています。この沿線には消防庁舎移転と市営斎場の建て替えもあり、概ね平成27年度完成を目指しています。道路も同時期を目指していますが、用地買収の関係や、国の補助金を使うということもありますので、こういったものを観ながら施設整備と合わせた供用開始ができればと考えています。

川口田中線を現在整備していますが、まだ未買収の方もいます。确实とは言えませんが、計画上は25年度供用開始となっています。

労働基準局の用地が100㎡程かかりますが、労働基準協会の建物がある協会の建物については、移転していただく交渉をしています。

労働基準局とハローワークの移転については、新聞報道等でもご存知だと思いますが、滝田地区の市有地に進めていきましたが、地元の関係もあり一旦断念されております。

現在労働基準局にも、中心市街地含めて提示させていただいておりますが、駐車場の確保の問題があるようです。候補地を検討して、国に予算の要望をして行きたい旨を伺っています。

市役所移転に際して、職員の通勤の問題ですが、公共交通会議において、本年度市職員を対象に公共交通への転換に対する意向調査を実施する予定です。環境面、交通混雑の緩和の観点から公共交通への転換を考えております。

(ペルチ伊藤)

協議会が月一回のペースで開催するとのことですが、今年一月のスケジュールでは、8月～10月に認定申請になっていたと思います。今後、市の策定委員会においてどのような協議が行われるか、又協議会で議論したものがどう反映されるものか伺いたい。

(東郷部長)

当初、中心市街地活性化基本計画は8月申請でしたが、国との協議によって十分な協議を行う必要性から、12月申請3月認定というスケジュールになりました。スケジュールの中で、協議会からの意見を附して申請をしますので、より多くの意見を頂いて計画に反映出来るものは反映したいと考えています。

(横田オブザーバー)

現在のスケジュールでは12月末までに計画書を作成・申請して3月に認定、4月から事業実施というスケジュールになります。若干遅れた理由としまして、事業が4月スタートであれば8月に申請しても12月に申請しても支援措置を受けられる期間は同じということです。更に、国の方でも見直しを進めていまして、6月、11月認定の受付もしておりますが、今年度は継続案件だけで、3月末認定に集約されることとなります。新制度の下で認定されますので、土浦もそのようになると思います。

又、より良い計画を策定する上で、活性化協議会の意見を極力反映した計画であることが必要ですので、早めに申請しても協議会で十分な議論がなされていないのであれば、認定されないことも考えられます。これらも踏まえて活発な議論をして頂きたいと思います。

(2) 新計画の基本的な方針及び目標について

(3) 新計画の部門別事業について

(船沢課長)

中心市街地の活性化に関する基本的な方針

中心市街地の将来像

「歴史が息づき 人々が集う、魅力ある湖畔の都市(まち)」

中心市街地の区域

土浦警察署、土浦郵便局を含む約119ha(3ha拡大)

中心市街地活性化の目標

1 まちなかの歩行者通行量

2 居住人口

3 観光施設の利用者数

具体的事業の内容

新庁舎整備事業

新図書館整備事業

景観計画誘導事業

かわまちづくり事業

土浦駅東口周辺第1地区まちづくり事業

大和町北地区まちづくり事業

まちなか交流ステーション事業

中心市街地活性化支援事業

土浦繁盛記事業

温泉スタンド事業

まちづくり活性化バス運行支援事業 について説明。

(中川会長)

将来像については、前回までの協議会等を踏まえて、今回案が提出されましたがいかがでしょうか。

(勝田委員)

今までの意見を集約されているので、良いものになったと思います。

(山根委員)

策定委員会での意見も聞いていますが、親しみもあり良くまとまっていると思います。

(中川会長)

協議会としてはこの案で承認させていただきたいと思います。

次に区域ですが、必要最低限の拡大だと思しますので、このエリアで御承認いただきたいと思います。

目標値については、横田オブザーバーにお伺いいたしたいのですが、指標、及び数値は適正と考えてよろしいでしょうか

(横田オブザーバー)

目標値の設定は、高い目標を立ててもらいたいとは思いますが、実現性が問われます。この目標は裏付けが取れており、実現性が高い目標かと思っています。この数値が達成されるように事業内容を精査して頂きたいと思います。

居住人口と、交通量は適切な視点と言えます。又、観光施設利用者数については、地域の特性を活かした視点と言えますので適切です。数値自体も実現性のある数字ですので、更なる精査は必要ですが、

方向性は妥当だと思います。

(山根委員)

3月に実施された策定委員会の資料を見て比べていますが、計算式が若干低く変わっています。これは、目標値を出すための方法を検討の結果、補正したということでしょうか。

(土浦市まちづくり推進室 飯泉室長)

目標値を低く見積もったわけではなく、3月の策定委員会の目標値は、積算が分かりづらいという意見をいただいたので、積み上げを整理した結果、この数字になりました。

(中川会長)

目標値については、今後国との協議において適正値を定めていただくとして、次の活性化事業についてですが、新市庁舎、駅前北地区再開発、霞ヶ浦活用、大和町北地区、空き店舗対策の5つは、個別に議論する予定ですので、これ以外でご意見を伺います。

(山根委員)

歴史的町並み景観形成事業及び景観計画誘導事業について、関連付けて質問いたします。先般、戦国 BASARA 展とスタンプラリーを実施したところ、かなりの人出があったと聞いています。実際まちなかで、どのような賑わいがあったか教えてください。

(土浦市観光協会 塚田専務理事)

3月16日～5月6日まで、博物館の期間中入館者数は28,057人です。中でも、初日中城商店街は凄い人出で、まちかど蔵大徳も終日凄い人出でした。平日でも若い女性を中心に人出が見受けられ、クリアファイルは15,000枚が間もなく無くなった、5,000枚を増刷するなど盛況だった。商店街からも、また新たな企画の要請もあります。観光協会に関連グッズを販売していましたが開館以来の売り上げを記録しました。

(中川会長)

今回の BASARA 展で、魅力ある事業を実施すれば、駅から1～2kmの範囲は歩いてもらえることが実証された事業でもあったと思います。時間に限りもありますので、活性化事業については、次回以降も引き続き伺うこととして、新庁舎整備計画について説明をお願いします。

(4) 新庁舎整備事業基本計画について

(土浦市総務部小柳部長)

経緯、上位計画との整合性など前提条件の整理。
新庁舎整備の基本理念と基本コンセプト
新庁舎に必要な機能やゾーニングなどの考え方
事業計画 について説明。

(中川会長)

市庁舎について本日は説明までとさせていただき、基本計画をチェックして次回詳しくご意見を伺いたいと思います。最後に一つ横田オブザーバーにお伺いしたいのですが、横浜市の待機児童が0になったということで、大きなニュースとして取り上げられていました。まちなかの駐車場に保育所を建設するのと合わせて、離れた大きな施設に子供を送迎する2通りの手法とのことでした。

土浦の中心市街地の問題点として、スプロール的に駐車場が点在していて停めづらいことだと思いません。

農業では休耕田を国が借り上げて貸し付けることもあります。都市においては空き駐車場を集約出来るような方策がないでしょうか。街中の駐車場をうまく整理ができればアクセスもだいぶ違ってくると思うのですが、いかがでしょうか。

(横田オブザーバー)

駐車場の問題は街中の回遊性を考える時に大変重要な視点であります。

土浦は一般の方からは駐車場が分かりづらいということはあると思います。駐車場を集約化すればいいという議論になると思いますが、都市そのものを再構築する上で、新たな施設が出来るとそれに伴って駐車場が必要になってきますので、その一環で駐車場を整備して行く方法が良いかと思えます。

駐車場単体として補助金を出すというのは考えられないので、今後新たな都市基盤が整備される中で、駐車場の集約を含めた対応をして行くことになると思います。

(中川会長)

安倍政権の第3の矢の中で、組み入れていただければと一市民として思うところです。

予定時間を超過いたしました。最後事務局よりスケジュールをお知らせして閉会いたします。

(事務局)

今回は、6月24日13時30分です。協議事項は、新市庁舎整備計画についてです。

第3回協議会は以上で閉会いたします。